

【東京都現代美術館】 指定管理者提案書類(事業計画書) 概要

1. 管理運営の基本方針

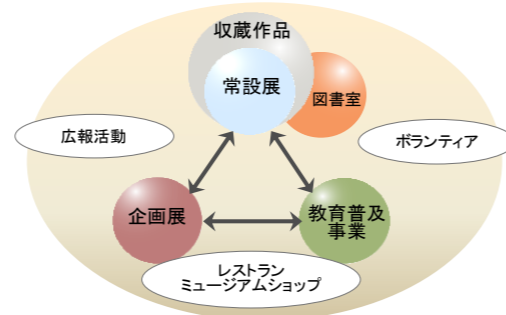
■基本方針

・多様性／多義性にあふれ、時代／地域を越えて卓越した魅力を持つ現代美術領域の拠点を目指す

- ① 現代美術の国内外への発信
- ② 現代美術の保存と継承
- ③ 変容する価値観への対応
- ④ 優れた作品等の鑑賞機会の提供
- ⑤ 現代美術の普及と子供たちの育成
- ⑥ 新進・若手芸術家への支援と創造拠点化
- ⑦ バリアフリー・ホスピタリティを指向するアートの拠点化
- ⑧ 地域の核としての存在

《基本方針》
 1 文化の創造と魅力あるメッセージの発信
 2 現代美術の普及と次世代の担い手を育む
 3 あらゆる鑑賞者に開かれた美術館の実現

■館の機能の総合的な発揮



館の各事業及び資源の連携を強化した、Integrity(総合性・全体性)のある事業運営

■工事休館中の主な事業(平成29、30年度)

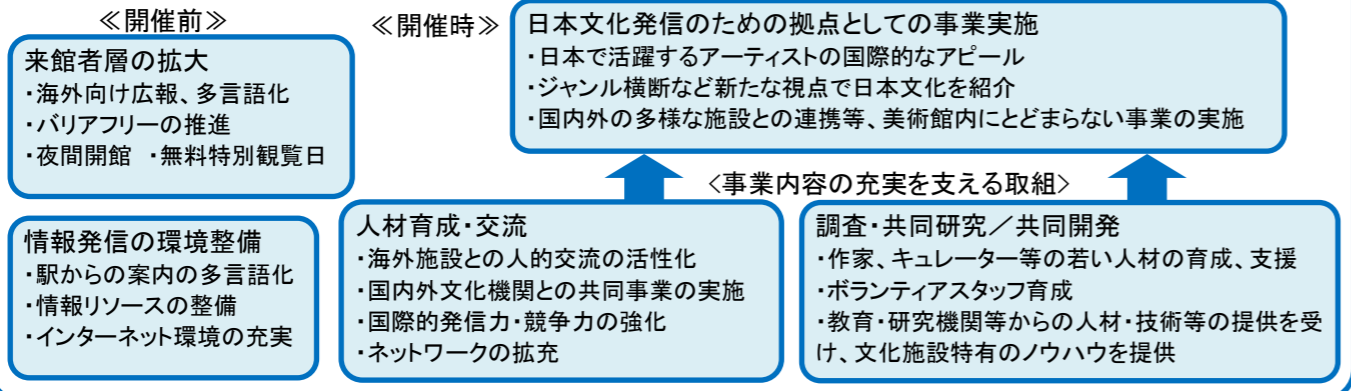
- ・企画展: MOTサテライト展
- ・美術図書室: 資料データの整理、仮事務所での閲覧サービス
- ・収蔵作品の保存管理
- ・教育普及: 地元商店街でのアウトリーチ、西東京エリアでの出張事業
- ・収蔵作品の有効活用: 他施設への貸与
- ・広報: 休館中の活動についての情報提供

■東京文化ビジョンの実現に向けた取組

- 文化戦略2** 美術館事業の魅力を経済的に高め、東京都の主要な文化拠点の一つとして情報発信
- 文化戦略3** 多言語化推進、バリアフリーの推進、年齢や障害の有無に関わらず芸術に触れられる教育普及プログラムの充実
- 文化戦略4** 清澄白河エリアでのMOTサテライト展、若手作家のグループ展の開催
- 文化戦略5** 海外の施設・機関等と連携した展覧会、海外での巡回展、シンポジウム等の開催
- 文化戦略7** ファッション、音楽、建築、メディア芸術、パフォーマンス等、多様な分野と先端技術が融合する展覧会やイベントの実施
- 文化戦略8** 多様なジャンルや場所を含んだフェスティバル形式のプロジェクトなど、国際的発信力のあるプログラムを開催

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた運営戦略と取組

・東京を代表する現代美術の拠点として、国内外に現代美術の魅力強く発信



■国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)

海外	個展やグループ展、コレクション交換・巡回展の開催、調査協力、作品の相互借用等	地域	清澄白河でのMOTサテライト事業、近隣エリア(お台場)、東東京エリア(上野、墨田)との共同事業
国内	展覧会巡回、共同調査・企画、作品の相互借用	財団内	収蔵品の活用、パフォーマンス場所の提供、ノウハウ共有、オリンピック・パラリンピックに向けた連携事業など
都内	美大との事業連携、若手作家の育成・発掘・支援、インターン受入、調査協力、作品の相互借用等		

2. 事業に関する業務

■作品・資料の収集

・国内外で評価の確立した作家の他、次代を担う新進作家の、新たなメディアを応用した作品や多様な視覚芸術作品を収集

■作品・資料の分類整理、記録及び保管等

・都民の財産である作品を良好な状態で次代へ引き継ぐ

■現代美術に関する情報提供

・国内最大級の美術図書室を都民へ開放し、来館者が美術への理解を深めるための資料と場を提供
 ・図録・パンフレット、情報誌等の発行、デジタルアーカイブ等

■調査研究

・対象: 作品、作家、マーケット、美術史、教育普及、美術館マネジメント等
 ・手段: 学会等への参加、共同研究、館外研修等
 ・成果の還元: 展覧会・教育普及事業、図録、報告書、大学等での講義、美術賞の審査等

■展覧会

・幅広いテーマやジャンル
 ・知見を広げるきっかけ
 ・ネットワーク構築
 ・多様な表現や新たな見方を提示
 ①常設展: 現代美術の変遷の体系的な展示と多角的なテーマによる多様性の提示。解説パネルやボランティアによる解説を実施
 ②企画展: 新しい問いかけや価値観創出のきっかけづくり



■教育普及活動

・「観客の主体的な関わりの尊重」「楽しさと感動の創出」を重視し、現代美術の普及と鑑賞者の裾野を広げる

■その他の事業

・エントランスホールの貸出し: 洗練された空間をファッションショー、パフォーマンス、ファッション誌の撮影等に活用

■人材の育成

・新進作家: 作品発表の場の提供、作品レビューの実施
 ・専門家: 博物館実習、インターンシップの受入れ

■館の事業を支える仕組み

- 広報: 館のブランドイメージの向上、多彩なメディアによる情報発信、海外への積極的な広報を実施
- 友の会: 観覧料無料・割引、会報誌発行、イベント開催など
- ボランティア(ガイドスタッフ、ワークショップ・アシスタント): 主体的な活動機会の提供、サポーター・愛好者の獲得、来館者との直接の交流を通してニーズを把握し事業へ反映
- 外部意見等: 専門家や一般来館者の意見を取り入れ反映
- ニーズの把握: 顧客満足度調査・非利用者調査の実施
- 外部資金の導入: 共催展による事業規模の拡充、協賛・協力、公的助成金、維持会員による支援の獲得

3. 館の運営に関する業務

■休館日及び開館時間

・混雑時期等は開館時間を延長するなど弾力的に対応
 ・ゴールデンウィークやお正月等に臨時開館

■館内サービス

・バリアフリー: エレベーター増設、多目的トイレ、点字案内
 ・外国人対応: 多言語表記、音声ガイド、決済手段の多様化
 ・親しみやすい展示や発信方法による新規顧客開拓
 ・ミュージアムショップ・カフェ・レストランの運営
 ・ホスピタリティをもった、スタッフの顔の見えるサービス
 ・お客様からの意見・苦情への迅速な対応

■施設及び付帯設備貸出し

・講堂、研修室、エントランスホールの積極的な貸出し、及び撮影利用への施設提供により、収益を確保

4. 組織及び人材

・現代美術に関する専門的かつ広範な知識、多くの実務経験を有する職員を配置
 ・文化の創造・発信をリードして行く気概を持った職員の育成、組織風土の醸成
 ・各種研修により専門能力、事務処理能力、経営上のバランス感覚の向上を支援

5. 館の管理その他に関する業務

■館の管理

- 施設等の管理業務: これまでの経験を生かし、効果的、効率的な維持管理、計画的な保守点検を実施
- 危機管理: 災害対応力を備え、来館者・職員の生命及び後世に継承させていくべき文化資源を守る
 ・お客様の安全確保: 危機管理マニュアルに基づく対応、テロ等の人的災害への対策、水害対策
 ・展示品・収蔵品: 安全な展示・収蔵、盗難対策
 ・大規模災害発生時: 都立施設に求められる一時滞在施設等の役割を適切に果たす

■地域等との連携の取組

MOTサテライト展: 美術館としての活動を館内に限定することなく街全体に展開するアートプロジェクト
 ・第1～3回を、工事休館中に実施。美大との連携や若手作家支援のイベント開催により、地域の振興・拠点形成に寄与



商店街の街灯にバナー設置